

川中先生のブログ

クリスマスだ、正月だ 神戸の孫

2013年12月25日 06時21分17秒

テーマ：日常



神戸の5歳の孫が、クリスマスプレゼントを靴下に入れてもらいたいので自分で靴下を作ると言ったもののやはり作れなくて、母親と一緒に100円ショップに行って靴下を買いました。その靴下の写真付きのメールが神戸の嫁さんから来ました。ここに入れてくれと言う事らしいです。

プレゼントはすでにアマゾンから手に入れて妻がラッピングしています。

ところで、孫二人が今日神戸からうちに送り込まれます。妻が広島駅に孫二人を迎えに行きますが、昨日、人間に先んじて着替えが宅配で送られてきました。着替え以外に何か入っているかと思って隅々まで見ても、着替えしか入っていませんでしたが、着替えは大きな赤い袋に入っていました。



今度は、この赤い袋の中にプレゼントを入れてくれと言う事らしいです。

こんな大きな袋に一杯欲しいとは欲な子供達です。私が小さい頃、祖父が私に、『この子は欲じゃのう、商売人の子じゃ、ええど。』と言ってくれたのを思い出しました。子どもに<少欲知足>、欲張らないで、与えられた現実を素直に受け入れること、を望むのは無理です。還暦過ぎの私もまだよく一杯で、まだまだその境地ではありません。

今夜、枕元にこの赤い大きな袋を置いておくらしいです。

5歳はまだサンタクロースを信じているんですね。

今日は、長女も里帰りお産のために3歳の孫を連れて庄原から帰ってきます。

29日は長男夫婦ともう一人の孫、30日には次男、正月には長女の婿さん、さらに呉の私の妹も来るでしょうし、正月休みは10人以上の人間が我が家にいることになります。

さあ居場所がない、大変だ。